

ふれあいメッセージ

3



千代田町青少年育成推進員連絡協議会



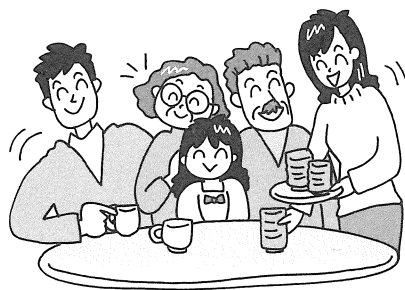
子どもの部

東日本大震災があつて、家族がいる温かさを知りました。

家族いる幸せをありがとう。（中学二年）

おじーちゃんの、やさしい声が聞こえなくなつて2年

もう一度、やさしい声が聞きたいよ。（小学五年）



先生のくれた言葉が私を変えたよ。ありがとう。

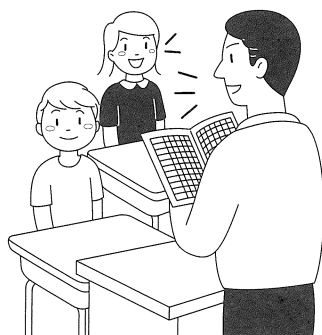
あなたの様な大人になるのが私の夢です。（中学三年）

「学校どうだった。」そんな話でもりあがる

家族といっしょにいたい。（小学五年）

母さんが家を出てから7年立つけど、母さんの事

嫌いになった事は1度も無いよ。（中学二年）

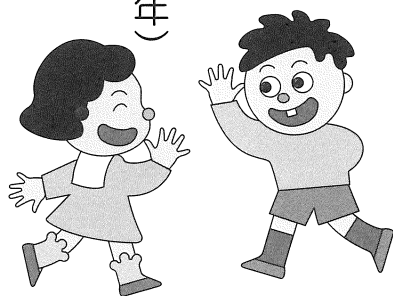




ぼくは、思うよ、「ありがとう」と、

いう一言で人は、かわれるんだってね。

(小学五年)



今ははるかしくて言えないけど、大人になったら言えるかな。

産んでくれてありがとう。(中学二年)

自分がいじめられてから4年、

今ではもう自分をいじめてた人達は友達です。

(中学二年)





お父さん、お母さん、□では言えないけど、

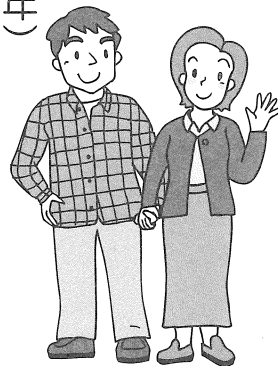
「ありがとう。」いつまでも元気でいてね。

(小学六年)

「ありがとう」は私の大好きな言葉です。

人の心を元気にするまほうの言葉。

(小学六年)



朝のあいさつで、今日1日が気持ち良くがんばれる気になる。

言葉の力はすごい。

(中学三年)





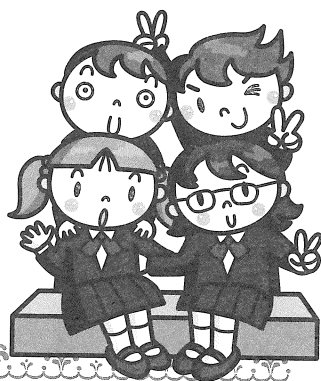
朝のあいさつ「おはよう」。言った人も言われた人も

いい気持ち。自分から先に言いたいな。(小学五年)

「こんにちは」じゃなくて、「おかえり」

近所のおばさん、おじさん。ただいま！(中学一年)

楽しい事は2倍に、辛い事は半分にしてくれる
仲間をたくさん増やしたいです。(中学一年)



「ありがとう」と言う言葉、誰にももらっても嬉しい言葉、

その言葉は私にとって宝物。（中学三年）

未来のぼくへ 職業についたら、色々お世話になった人に、

なにかしてあげて下さい。（小学六年）

自分で作った夕食。おいしいって言うてくれた時、

うれしくてありがとうって心から言った。（小学五年）



小さな事でも、親切って嬉しい。その心を伝えるために、

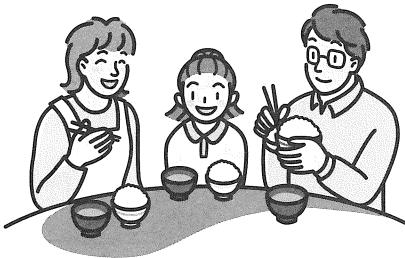
ありがとうを大切にしたいな。（小学六年）

「おはよう」と、友達の声「おはよう」と言つと

心の中がすぐきもちがいい。（小学五年）

お父さんの作る朝ごはんはいつもごちそうさまで

済ますけど本当はすぐうれしいです。（中学三年）



あきらめたらそこで試合終了!!

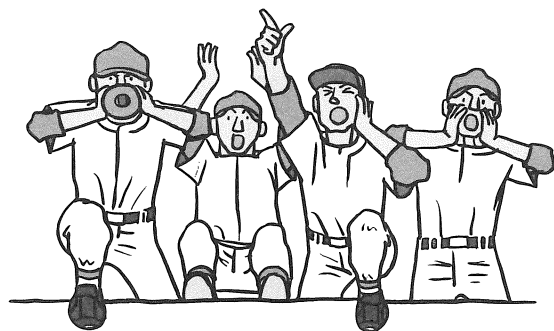
何ごとにもあきらめんな!! (中学三年)

いつも一緒の六人組。みんなの思いやりの心が

私にとっての宝物。(小学六年)

けんかをすることもあるけれど、でも思う。

私はお母さんの子供でよかったって。(小学六年)





友達とけんかした。しばらくたってからやっと言えた。

「ごめんね。」って。（小学五年）



今だからこそ、前向きに、力強く毎日を歩んで行きましょう。

未来はきっと明るいです。（中学一年）

この間、お母さんの小学校の卒業アルバムを見たら

私に似てたよ。（中学一年）



寂しい時一緒にいてくれる、悩んだ時真剣に聞いてくれる。

そんなあなたが大好きです。（中学二年）

学校で学ぶことは、社会に出ても、大切な教科の一つです。

先生方、ありがとうございます！（中学二年）

私の好きな人は、やさしくて私を産んでくれた

おかあさんだよ。（小学五年）





あいさつすると、この町の人全員が明るく返してくれる。

だから私も元気をもらおう。（小学五年）

胸をはって言える事、それは、

「お母さんの子どもになってよかった!!」（小学五年）

お母さん運動会のかけっこで、1位はとれなかった。

でも、5位でほめてくれてありがとう。（小学五年）



妹に、やさしく出来ないけど。妹のね顔を見ていると

涙が出てくる。「ありがとう！」（小学五年）

お父さんいつも仕事でいないけど、

はなれていても大好きだよ。（小学六年）

ありがとう。！その声がききたくてお手伝い。（小学六年）





お父さんとお母さんのけいたいを見たときに、

ぼくの写真だったので、感動しました。（中学一年）



いつも汗だくになって仕事場から戻って来る両親に一度、

心からありがとうをいいたい。（中学一年）

いなくなってから大切さに気付くのは遅いって知ってるのに

素直に言えない感謝の言葉。（中学二年）



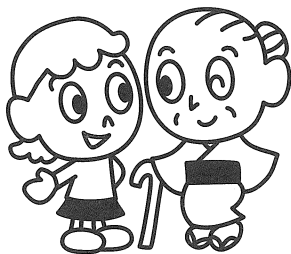


元気がない時に君は私に言った。「笑って!!」って。

そう言ってくれた君は最高の友達です!! (中学三年)

学校の帰り道に「おかえり」と言ってくれる

知らないおばあちゃん。本当に嬉しいよ。(中学三年)



3月の地震で青森にいるおばあちゃんとの連絡が途断えた。

でも生きていた。ありがとう。(中学三年)



動かないお父さんを見て、こう思ったんだ。

『お疲れ様。』（中学三年）

わたしがいけないことをしたとき、お母さんはしつかり

おこってくれる。わたしのために。（小学五年）

えがおのお母さんがみたくて、

わたしは、ニガテなこともがんばってるよ。（小学五年）





いつもあんまり笑わないお父さん。私は見たよ。

家族の写真を見て笑っているお父さんが。（小学六年）

おばあちゃん、その笑顔が好きだよ。その笑顔を

ずっとみたいから、ながいきしてね。（小学六年）

ひいおじいちゃんは、ガンで亡くなりました。

将来ガンを100%治せる病気にしたい！（中学一年）





いつも素直になれなくて反抗しちゃうけど

心の中では思ってるよ。「ありがとう」って！（中学一年）

みんな、二十歳になっても、三十歳になっても、

おばあちゃんになってもずっと友達だよ。（中学一年）

悩んでいても、相談できる仲間がいるから乗り越えられる。

いつもいつも、ありがとう！（中学二年）





泣きたい時。笑いたい時。いつだってキミがそばに

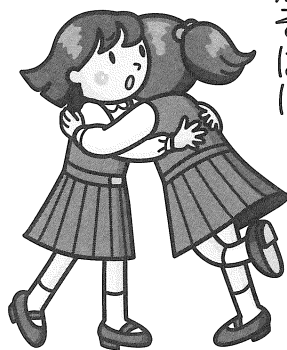
居てくれたから今がある。（中学二年）

「ありがとう」中々言えない言葉だけど、

いつ言っても気持ちのいい言葉だ。（中学二年）

泣きごと一つ言わないお母さん。

私の前では弱音はいてもいいんだよ。（中学二年）





くるしかつたことやつらかつたこと。

仲間がいたから乗り越えられた。ありがとう!! (中学二年)

僕の事をずっと支えてくれた母、だから、

大人になったら、僕が支えてあげるよ。(中学三年)

サッカー部の最後の大会、一回戦で負けた。

でも努力では絶対におれらが一位だ。(中学三年)





けんかして、たたきあって、遊んで…

大切なぼくの宝もの。友達。（小学六年）

おじいちゃんが、いつも野菜を畑でとっているくれる

とっても栄養満点いつもありがとう。（小学五年）

お母さん、大きらいっていても、世界で一番愛してるよ。

大好きママ。（小学六年）





おじいちゃんと、おばあちゃんの、笑顔が見たいから、

長生きしてね。(小学六年)

いつも、朝からよるまで、はたらいてくれてありがとう。

恩返しに元気いっぱい笑顔を。(小学六年)

学校には大切な仲間がいるから笑顔ですごせてるんだ。

これからもっと仲間を大切に！(小学六年)



あまりしゃべらないお兄ちゃん。

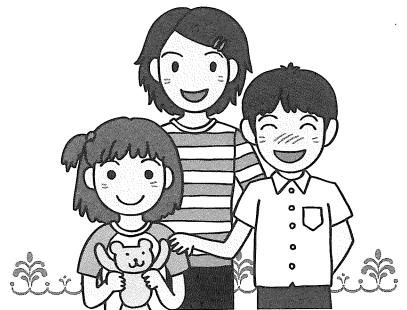
たまに優しいお兄ちゃん。大好きです。（中学一年）

さんざんわがママを言ってきたばく。こんどはお母さんの

わがママを聞いてあげるよ。（中学一年）

毎日登下校のとき、あいさつをしたら

あいさつを返してくれる近所の人に感謝してます。（中学二年）





お父さん。いつもありがとう。本当は直接言いたいけど

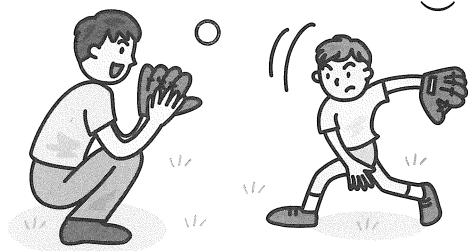
恥ずかしいんだ。許して！（中学三年）

お父さん、お母さん、仕事でつかれているのに

私と弟を楽しませてくれてありがとう。（小学六年）

お父さん、おれ必ずお金をいっぱいかせぐよ。

お父さんが好きな野球で。（小学六年）



自然豊かなこの町を、心温かい人達を、

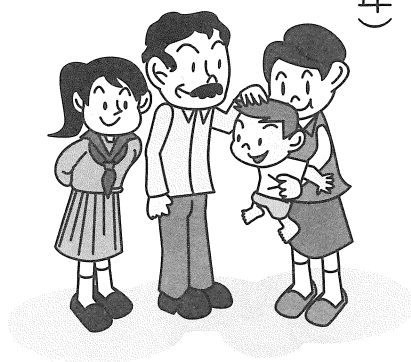
いろんな人に知ってもらいたい。(小学六年)

いつも優しい笑顔ありがとう。

私の自まんで大切な家族へ。(中学二年)

部活の朝練で早起きさせてごめんね。

お母さんの作った朝ご飯、すごくおいしいよ。(中学三年)



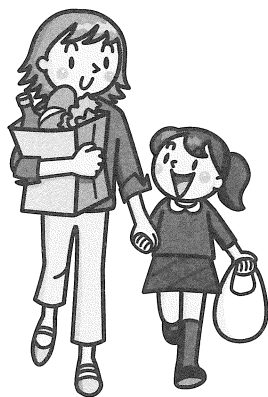
毎日、たのしく学校にかよえるのは親や先生、

友達のおかげです。いつもありがとうございます。（中学三年）

大人の部

今になって思い出す。幼い頃に母に言われたあの言葉。

我が子にも伝えたい。





子どもの頃、早く大人になりたいと思った。

でも今は子どもに戻りたいと思う。

顔を見ると言えない感謝の気持ち。

後ろ姿につぶやくお母さんありがとう。

反抗期の娘を見て今わかるよ。

お母さんの気持ち。あの時は、ごめんなさい。



震災後、しばらく家族5人1つの部屋で一緒に寝た。

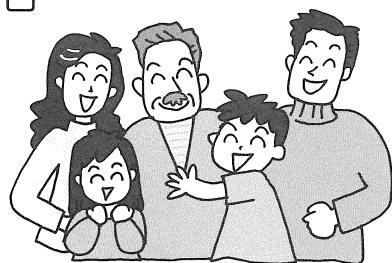
一緒に居ると心強いね。安心だね。

子供の夢をかなえるために親は頑張っていたんだネ！

今は亡き両親にありがとう

「ただいま。」の一言で安心して、

二人で微笑みながら会話をするとっても幸せな毎日



オギャー!と生まれた息子も、

今では、どんぶり飯を食べつくす。懐かしいあの頃は今。

仕事場で、子供達の頑張っている姿を思い浮かべるよ。

まだまだ、頑張れる自分がいるよ。

お母さんのように子育て出来るっ。

私、頑張ってるよ。空の上から見守っていてね。





子供の成長は私にとっても一つの勉強となり、

これからの成長を見守る親の責任。

辛い時、二人の笑顔を見るだけで心が優しくなるよ。

そばに居てくれてありがとう。



母さんや父さんが、いたからこそ生きていけたと思います。

ありがとう！



君達の未来に何を残すべきか考えてみる。

大人のエゴをどれだけ排除できるかが問題だ。

もう子供達に、二度と被爆させない。

唯一の被爆国で或るが故の責任と誓いであつたはず。

「心は被災していない」その言葉の中に

幾多の苦難と悲しみがある事を忘れてはならない。





1日24時間1年365日あつという間に過ぎ去る日々、
1日の大切さを感じ生きていく。

20年前に亡くなった母さんへ、今生きていれば、
いっぱい親孝行をしてやりたかったな。

子どもを、泣きながら叱る母と、うなづく私、
気持ちがわかるこの夏。





夫に告ぐ。気がつけば空気みたいな存在に。

もう昔のようにときめくことはないのですか。

介護する母の背中を見てふと思う。

「いくつになっても俺はあなたの息子です」

これから家族のページにすてきな思い出を描こうね。





毎日同じ事の繰返しで変哲の無い生活が

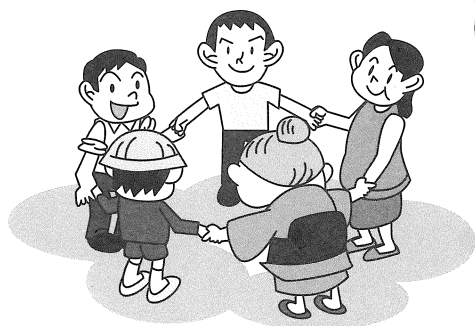
一番の贅沢だと思えます。贅沢に過ごせる喜び。

人生、妻ありて、子供子育て歩みあつとゆうまに、

歳を取りこれでいいと思う日々。

大災害があり命の大切さを感じています。

これからも家族の幸せのために頑張るぞ！。





「危ないよ。」って言っていた子供達に「危ないよ」って心配される歳になりました。

孫と手をつないで散歩中、楽しく教えるマナーと交通ルール。

早く大きくなるんだよ!!

将来はお母さんのような人になるのが夢でした。

母親になってもまだまだ叶いません。



あとがき

三年目となりました「ふれあいメッセージ」は、小中学生から四百五十六点、一般社会人から三十一點、合計四百八十七點の作品が寄せられました。

今回の作品は昨年三月に発生しました東日本大震災後、家族や大切な人への考え方が変わったということを表している内容も多いようです。子供たちのメッセージには、素直な思いや感謝の気持ち、また、温かな心のうちがいっぱい詰まっています。大人の作品は、大切な人に伝えたい気持ち、平凡無事な幸せを感じる日々、震災被災者を憂う心などが優しく表現されています。

私たちは、温かで明るい家庭づくりにつながる地域教育・家庭教育の大切さを多くのメッセージから学び、元気をもらい、感動しました。これからもあらゆる場面で、青少年の健全育成活動に活かして行こうと思います。

終わりに募集から発刊まで、ご協力いただいた沢山の方々に感謝を申し上げますと共に、全ての作品を掲載出来ない事のお許しを頂きたいと思っています。

平成二十四年三月

千代田町青少年育成推進員連絡協議会

会長 近藤 千秋



発行日 平成24年3月
発行 千代田町青少年育成推進員連絡協議会
〒370-0503
群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩1701-1
千代田町民プラザ内
TEL : 0276-86-6311 FAX : 0276-86-6336